

まあ、よんでみて!

17号 2008年 9月

2008 北京パラリンピック競技大会

目次	
起源、開催日程表	2
ボッチャ	3
シッティングバレー	4
陸上競技	5
射撃・編集後記	6



前号の表紙を飾ってくれた永易雄さん(ウィルチェアーラグビー選手)も今年開催される北京パラリンピック競技大会の出場が決定しています。そんな中、パラリンピックを我々はどこまで知っているのでしょうか。

【開催日】(12日間)

開会式:2008年9月6日(土)

閉会式:2008年9月17日(水)

【開催地】

中華人民共和国 北京市

【実施種目】

全20種類 ※北京大会よりボートが正式競技に追加

※ボッチャ、シッティングバレーボールが初参加!!!



ロゴ:北京パラリンピック公式HPより引用

特集～競技紹介、日本代表選手紹介!!!～

北京パラリンピックで開催される種目と、その内容、世界記録も載せてみました。また、大阪在住の選手にインタビューを実行!!!皆さんの意気込みを今回はお伝えいたします。

発行:(社)大阪府理学療法士会 障害者保健福祉部

〒540-8790 大阪市中央区常磐町1-4-12-301 TEL06-6942-7233 e-mail:disabled@physiotherapist-osk.or.jp

印刷所:身体障害者授産施設 大阪ワークセンター 〒594-0031 和泉市伏屋町5-10-11 TEL 0725-57-0883

パラリンピックの起源

1944年、イギリスでは、ドイツとの戦争が激化することで、兵士が負傷、脊髄損傷になる兵士が急増していく状況でした。そこで、イギリスは「兵士の治療と社会復帰」を目的に、ロンドン郊外にあったストーク・マンデビル病院内に脊髄損傷科（1953年に国立脊髄損傷センターと改名）を開設しました。その初代科長に、冒頭の医師、ルードウィヒ・グットマンが任命されたのです。このグットマン先生が、1948年7月28日、ロンドンオリンピックの開会式の日、ストーク・マンデビル病院内で16名の車いす患者によるアーチェリー大会を開催したのです。これが、パラリンピックの原点といわれています。その後、1960年にローマで開催された国際ストーク・マンデビル大会がパラリンピックの第1回大会とされ、現在、パラリンピックは国際パラリンピック委員会(IPC)が主催する障害者による世界最高峰の競技大会となっています。4年に1度、オリンピック終了後にオリンピック開催都市で行われるため、「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」と呼ばれ、夏季競技大会と冬季競技大会が開催されています。

日程表

競技名/開・閉会式	2008年9月											競技会場名	
	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)	15 (月)	16 (火)		17 (水)
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11
開会式	●												National Stadium
閉会式												●	
アーチェリー				◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆			Beijing Olympic Green Archery Field
陸上競技			◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		National Stadium
	マラソン											◆	
ポッチャ		◆	◆	◆	◆	◆	◆						Fencing Hall of National Convention Center
自転車	トラック	◆	◆	◆	◆								Laoshan Velodrome
	ロードレース& タイムトライアル						◆	◆	◆				Paralympic Road Cycling Course
馬術		◆	◆	◆	◆	◆	◆						Hong Kong Olympic Equestrian Venue (Shatin)
サッカー(5人制)		◆		◆		◆		◆		◆		◆	Beijing Olympic Green Hockey Field (B)
サッカー(7人制)			◆		◆		◆		◆			◆	Beijing Olympic Green Hockey Field (A)
ゴールボール		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆					Beijing Institute of Technology Gymnasium
柔道		◆	◆	◆									Beijing Workers' Gymnasium
パワーリフティング				◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆		Powerlifting
ローイング				◆	◆	◆	◆						Shunyi Olympic Rowing-Canoeing Park
セーリング			◆	◆	◆	◆	◆						Qingdao Olympic Sailing Center
射撃		◆	◆	◆	◆	◆	◆						Beijing Shooting Range (Hall)
水泳		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆				National Aquatics Center
卓球		◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆		Peking University Gymnasium
シットینگバレーボール		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆				China Agriculture University Gymnasium
車いすバスケットボール		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		National Indoor Stadium (Final), Beijing Science and Technology University
車いすフェンシング									◆	◆	◆		Fencing Hall of National Convention Center
ウィルチェアーラグビー							◆	◆	◆	◆			Beijing Science and Technology University Gymnasium
車いすテニス			◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆				Beijing Olympic Green Tennis Court
	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)	15 (月)	16 (火)	17 (水)	

表:北京パラリンピック公式HPより引用

ボッチャ(BOCCIA) 今大会初出場!!!

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ルールはパタンクと似ており、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障害によりボールを投げることができなくても、勾配具(ランプス)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。

競技は男女の区別なくBC1~BC4のクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦(2対2のペア戦と3対3のチーム戦)があります。(日本ボッチャ協会より引用、一部編集)

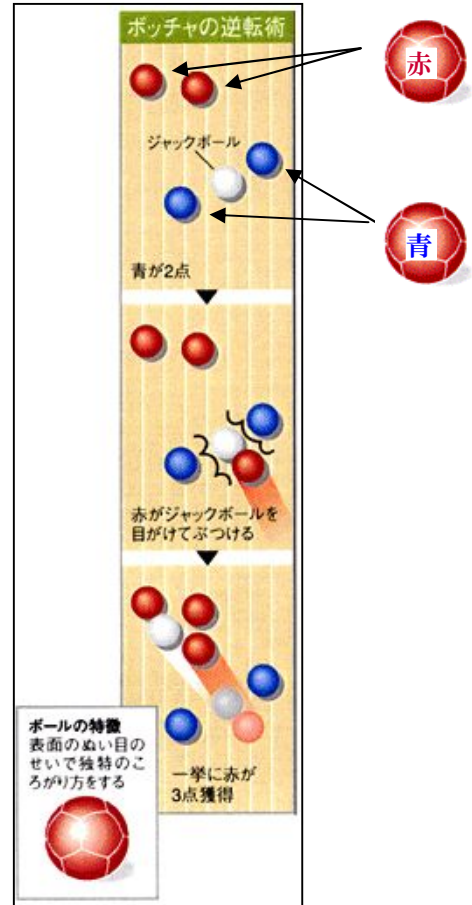
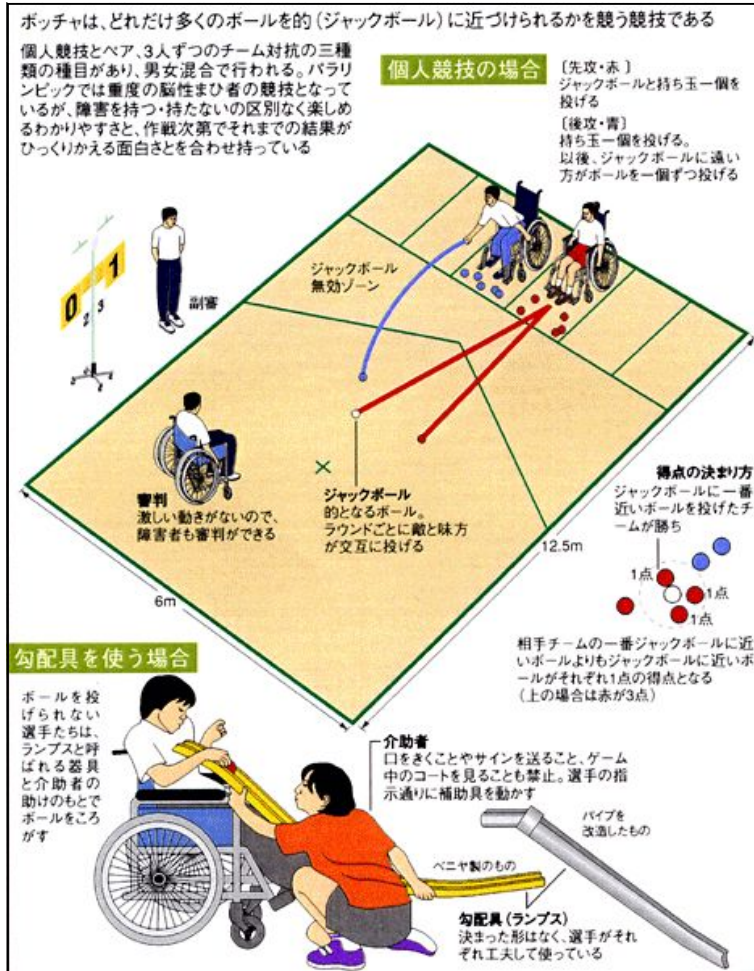


図:日本ボッチャ協会より引用



日本初参加のボッチャ日本代表選手の内田恵三さんにインタビューしました。

1. 競技を始めたきっかけ
趣味を見つけるため、神戸のスポーツ教室に行きボッチャにたどり着いた。
2. 競技の魅力
自分が障害者だと感じずプレーできる場所。
3. 北京パラリンピックへの抱負
今までの練習の成果を発揮しがんばるだけです。

シッティングバレーボール 今大会初出場!!!

1944年に障害の治癒やリハビリテーションのためにシットボールが始まり、1956年にオランダでシットボールとバレーボールが組合わされてシッティングバレーボールが生まれました。1980年パラリンピック(オランダアーヘン)の種目になり、男子2000年シドニー大会から出場し、女子は今回の北京大会が初参加となります。現在、全国に男女合わせて30チームぐらいあります。国内の大会においては、健常者も参加できます。(日本シッティングバレーボール協会HPより引用)

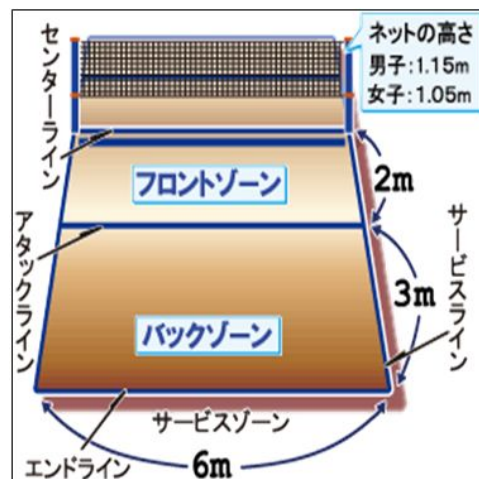
(健常者も参加できる世界大会もあります)

シッティングバレーとは、その名の通り、座って行うバレーボールで、常におしりを床についていなくてはなりません。通常の6人制バレーボールのルールを基にしており、国際ルールでは、障害の程度、種類によるクラス分けはなく、上肢や下肢などの切断、または運動機能障害をもつ選手が出場します。6人制のラリーポイント5セットマッチ。

(バレーボールガイドより引用)

《ルール》

- ・殿部の一部が常に床についていなければならない。
- ・サーブブロックをしてもよい。
- ・コートは10m×6m。
- ・アタックラインはセンターから2mのところにある。
- ・ネットの高さは男子が1.15m、女子は1.05m。
- ・サーブを打つときは殿部がエンドラインの後ろになければならない。
- ・ネットインも認められる。
- ・25点先取の5セット制で、最終第5セットは15点
- ・ボールには体のどの部分で接触してもOK



図、記録：日本シッティングバレーボール協会HPより引用

世界選手権

2002年10月 エジプト大会

男子 参加10カ国中 第8位
優勝国：ボスニア・ヘルツェゴビナ

2002年10月 スロベニア大会

女子 参加8カ国中 第6位
優勝国：オランダ

2006年6月 オランダ大会(男女初の同時開催)

男子 参加12カ国中 第12位
優勝国：ボスニア・ヘルツェゴビナ

女子
参加8カ国中 第7位
優勝国：オランダ

パラリンピック

2000年10月 シドニー大会

男子 参加12カ国中 第9位
優勝国：イラン 準優勝国：ボスニア・ヘルツェゴビナ

2004年9月 アテネ大会

男子 参加8カ国中 第7位
優勝国：ボスニア・ヘルツェゴビナ 準優勝国：イラン
女子 不参加
優勝国：中国 準優勝国：オランダ

今回、初出場となった日本女子代表チームのキャプテン 金木絵美さんにインタビューしました。

①競技を始めたきっかけ

18歳の時病気で障害をもったが、元来身体を動かすことが好きで、当時住んでいた神戸市で行われたバドミントン教室に参加しました。その時、現在所属している神戸JETSの監督にシッティングバレーボールを勧められ始めました。それから競技歴6年半。現在毎週火曜日はチームでの練習、土曜日は個人練習をしています。

②競技の魅力

お年寄りから子どもまで誰でもが楽しめ、全日本レベルになると競技として楽しめるというように幅広く楽しめます。

③北京パラリンピックへの抱負

パラリンピックに出場する夢はかなったけど、満足するのではなくメダルを目指してファイナルへ！選手全員が自信を持って、自分はキャプテンとしてチームを引っ張っていきように自信をもって大会に臨みたい！



陸上競技

一般の陸上競技に準じて行われているが、障害を考慮して実地種目や競技規則、用具などを一部変更している。こん棒投げなど特別に考慮された種目も行われている。車椅子使用者の競争競技では「レーサー」と呼ばれる軽量(約5キロ~8キロ)かつ空気抵抗の低減を配慮したフレーム形状の専用車いすを使用するが多い。また、下肢切断の選手では、スポーツ用に開発された義足を装着して競技を行う選手も多い。資格障害選手の場合の場合は、ガイドライナー(伴走者)とともに走ったり、フィールド競技においては、コーラー(手たたきなどの音源を選手のために出す)による方向指示を得て跳躍や投てきが認められているなど、障害の種類や程度に応じて工夫がなされている。選手は障害の種類や程度、運動機能によってクラス分けがなされ、クラスごとに勝敗を決するようにしている。

(財団法人日本障害者スポーツ協会HPより)

《クラス分け》

障害の種類・程度の医学的根拠と、対象種目の動作特性に影響を及ぼす残存運動能力の両面から選手を区分する。

《トラック》

T11~T13(視覚障害) T32~T38(脳原性麻痺) T42~T46(切断・機能障害)

T51~T54(脳原性麻痺以外の車椅子使用)

《フィールド》

F11~F13(視覚障害) F32~F38(脳原性麻痺) F42~F46(切断・機能障害)

F51~F54(脳原性麻痺以外の車椅子使用)

今回、オリンピック出場は3回目となる藤田万里子選手にインタビューしました。

①競技を始めたきっかけ

現在のコーチが、肩の強さを見て投擲という円盤投げの道を示される。藤田選手自身、コーチが投げた円盤の描く放物線に心奪われたそうです。

②競技の魅力

砲丸投げと円盤投げの双方で出場はするものの自身の主種目は円盤投げだと語る。何回もパラリンピックを通じた結果として、円盤投げには“馬力≒技術”の魅力を感じ、世界を目指したいと挑戦したい気持ちが沸いてきたそうです。

③北京パラリンピックへの抱負

前回のアテネオリンピックでは予選敗退したものの、自分の身体はまだ動き、この競技へ挑戦する気持ちは萎えずに過ごすことができました。アクシデントと向き合う度に、正直「怖かった」。自分を治療と戦いながら支えてくれた母親、主治医、コーチ、その他たくさんの人達の協力のもと、今回の出場を勝ち取ることができました。今までと違って感謝の気持ちがあつて不安や迷いは感じません。この場に立てる自分が嬉しく感じて強くなったと思います。だから思いっきりパフォーマンスができると思います



射 撃

射撃は、銃の種類、射撃姿勢、障害クラスの組み合わせによって設定された種目ごとに射撃しその得点を競い合う競技である。

<姿勢>

立射：椅子や車椅子に座って射撃することが認められている。

伏射：テーブルに両肘をついて射撃することが認められている。

膝射：椅子や車椅子に座って膝射をする射手は、膝の代わりにスタンドの上に肘を置いて射撃することが認められている。

<クラス分け>

SH1 自分の腕で銃を保持し射撃を行うクラス

SH2 支持スタンドを用いて射撃を行うクラス

体幹の機能障害のために、銃を抱えて射撃することが困難な場合、テーブルに肘をついて射撃する伏射で競う。予選では、試し撃ちと本射60発を1時間30分の一定時間で10点満点の標的に射撃し、その合計点の上位8位までが決勝戦に進むことができる。決勝戦では、10発をそれぞれ45秒以内に射撃し本戦と合わせた合計点で順位が決まる。10点の円の中でも、さらに小数点の戦いとなり、息を呑む接戦を繰り広げる。

アテネに引き続き日本代表選手となり、エアライフル10m伏射とスモールボアライフル50m伏射の2種目に出場する田口亜希さんにインタビューをしました。

①競技を始めたきっかけ

入院した時、同じ病室の人達と障害者スポーツについて話した時に射撃の事が出て、やってみたくと思いました。数年後神戸で働くことになり、その時話をした人が神戸に住んでいたので会う事になり、彼女が先に射撃(ビームライフル)を始めていて誘われました。

ビームライフルの練習をしていくうちに、コーチからエアライフルをしてみないかと誘われたことがきっかけです。

②競技の魅力

相手は静止している標的なので、人のせいにならず、点が悪いのも、銃の調子が悪いのも全て自分の責任となることです。

③北京パラリンピックへの抱負

今回2種目出場しますが、1種目はアテネバラと同じ種目(エアライフル)で、その種目はアテネバラでは1点落としてしまったので、北京では満射の600点を出したいと思います。もう1種目は2年ほど前から始めたスモールボアライフル(火薬銃)で、練習してきた成果を出したいと思います。



獲得メダル数	金メダル	17
	銀メダル	15
	銅メダル	20
	計	52

アテネパラリンピックメダル獲得数

編集後記

今回の「まあ読んでみて」では、北京パラリンピックについて取り上げてみました。

出場選手は厳しい条件をクリアし、さらに国内の競技団体に選考されたトップアスリートです。

現在選手はパラリンピックを目前に控え、世界を目指し日夜練習に励まれています。緊迫感に包まれているこの時期ですが、インタビューに協力してくださいました。

障害のある選手による、世界最高峰の競技大会『北京パラリンピック』を、みんなで応援しましょう。

ホームページもぜひご覧下さい

http://www.physiotherapist-osk.or.jp/page/top_f.html

